

# 革新的な学びで世界へ ～New Borderless Education～

## ニューノーマル時代の地域創生を加速する高校生グレーター・ナゴヤ・プロジェクト

名古屋商科大学  
名古屋国際 中学校 高等学校

～ グローバル拠点都市と世界を繋ぐ ～

### ▶ 未来の自分

#### [ 育む人材 ]

自らが出会う新しい時代の価値や課題を読み、新たな技術・スキルを身に付け、協働と革新を持続しながら新しい道を切り拓く人材

#### [ 資質・能力 ]

- A 時代を読む“コミュニケーション能力”
- B 人と人を繋ぐ“共生協働能力”
- C 自分をコントロールする“自己管理能力”
- D 学びの基盤“情報活用能力”
- E アイディアを生み出す“科学的思考能力”

#### (ALネットワーク)

### 高校生グレーター・ナゴヤ・プロジェクト 学校法人栗本学園

#### ▶ 中長期ビジョン

- 短期目標 2022年～2024年 Meta-School構築（対話セッション、国際会議開催）
- 中期目標 2025年～2027年 Meta-School強化（STATION Ai共用運用）
- 長期目標 2028年～ イノベーション創出土壌形成（スタートアップ人材の創出）

#### (管理機関)

### 学校法人栗本学園

### ▶ 事業連携校

#### - 国内 -

名古屋市立名東高等学校  
奈良県立国際高等学校  
高知県立高知西高等学校  
国際高等学校（2022年9月開校予定）

#### - 海外 -

Immaculate Conception School of Baliuag (フィリピン)  
/ Juan Diego Catholic High School (アメリカ) / Lycée Georges Clemenceau (フランス) / UCSI International School (マレーシア)

## Meta-School

### 学びの仮想空間



Meta-Schoolの構築とインフラ管理

### ▶ 愛知県スタートアップ支援拠点「STATION Ai」

#### ▶ 事業協働機関

- 大学・大学院 -  
名古屋商科大学 (NUCB)  
名古屋商科大学大学院 / マッコーリー大学  
- 国際機関・自治体・企業等・NPO -  
国際連合地域開発センター / 愛知県経済産業局スタートアップ推進課 / 日進市生活安全部市民協働課 / 独立行政法人国際協力機構 (JICA) 中部センター / 公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター (ACCU) / 特定非営利活動法人アイキャン / 中部国際空港株式会社 / 公益財団法人名古屋国際センター / 西日本電信電話株式会社 / デロイト トーマツベンチャーサポート株式会社

### 【事業拠点校】名古屋国際中学校・高等学校

[ 運 営 組 織 ] ALネットワーク協議会・ALネットワーク運営委員会・国際教育推進委員会・事務局

[ 一 環 道 ] 持続可能なランドスケープの設計-アントレプレナーシップで世界を俯瞰する

[ 教 育 課 程 ] 先進カリキュラム開発体制

地域協働推進事業（グローバル型） × 国際バカロレア・ディプロマプログラム（BDP） 国際バカロレア・ミドルイヤーズプログラム（IBMYP）  
文理融合カリキュラム・WWL特論Ⅰ・Ⅱ・高大連携講座（データサイエンス等）  
総合的な探究の時間・オンライン/オフライン海外研修

[ 国 際 性 ] 留学生が安心できる環境整備（校内留学生受入推進体制の整備と留学生（事業連携学校・大学・大学院・地域）との交流の場）

[ 情 報 集 積 ] SGHネットワーク・ASPnet・地方創生SDGs官民連携プラットフォーム・愛知県SDGs登録・名古屋市SDGs推進プラットフォーム・#せかい部

2019年～2021年  
地域との協働による高等学校教育改革推進事業  
（グローバル型）

2015年～  
SGHアソシエイト



## 2022年度 主な活動

- [a] カリキュラム開発  
・カリキュラムマップ作成
- [b] ナゴヤから地域創生  
・企業協働と学校間交流  
・国際理解研修
- [c] メタバーズで  
WWL高校生国際会議





# WWLカリキュラム開発会議 - カリキュラムマップの作成 -

## (a) 探究学習を「総合」だけでなく、「すべての教科」へ

2023カリキュラムマップ

令和4年度入学生				名古屋国際中学校・高等学校														
				グラデュエーション・ポリシー (GP) <small>(スクール・ミッションに基づき、学校教育活動を通じてどのような資質・能力を育成することを旨とするかを定める基本的な方針)</small>														
				国際的な視野に立って思考する能力	外国語でコミュニケーションする能力	寛容な態度をもって問題を解決する能力	物事を主体的に探究する能力	自らを省察して多面的に評価する能力										
				イノベティブなグローバル人材像 <small>(WWL/ALネットワーク内連携校共通)</small>														
				科学的思考能力	コミュニケーション能力	共生協働能力	情報活用能力	自己管理能力										
				カリキュラム行動指針														
【◎】 授業の中で重点的に取り扱われ、特に学修効果が期待される能力				グローバルな課題を科学的・論理的に思考できる力	課題を探究するためにコミュニケーションできる力	グローバルな課題を協働して解決しようとする力	課題を探究するために情報を的確に活用できる力	課題探究の進行の管理や振り返りができる力										
【○】 授業の中で取り扱われ、高い学修成果が期待される能力																		
教科	履修形態	単位数	科目	GP1			GP2			GP3			GP4			GP5		
				1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年
国語	必修	2	現代の国語	◎			◎			◎			○			○		
	必修	2	言語文化	○			◎			◎			◎			◎		
	選択	2・2	論理国語		◎	◎												
	選択	2・2	文学国語											○	○			
	選択	4・4	国語表現											◎	◎			
	選択	2・2	古典探究														○	○
地歴	必修	2	地理総合	○						○			◎			◎		
	必修	2	歴史総合	○						○			◎			◎		
	選択	2・4	日本史探究					○	○		○	○		◎	◎		◎	◎
	選択	2・4	世界史探究		○	○		○	○		○	○		◎	◎		◎	◎
公民	必修	2	公共		○									○				
	選択	2	政治・経済			○									○			



# WWLカリキュラム開発会議 - カリキュラムマップの作成 -

- (a) 探究学習を「総合」だけでなく、「すべての教科」へ
- ▶ 生徒へ見える化



NUCB International Junior & Senior High School



NUCB International Junior & Senior High School



# WWLカリキュラム開発会議 - カリキュラムマップの作成 -

- (a) 探究学習を「総合」だけでなく、「すべての教科」へ
- (b) 社会とつながる = "ConnectEd"

syllabus										普通科 中高一貫クラス			
教科 Subject		科目 Course		学年 Grade		単位数 Credits		担当教員 Teacher		開講言語 Language		日本語	
教科書 Textbook				副教材・教具Additional Text /materials									
科目の目標 Course Objectives													
観点別評価の基準 (ABC評価)		知識・技能											
		思考・判断・表現											
Assessment Standards		主体的に学習に取り組む態度											
Term	Month	Week	学習内容&課題 Study Contents		グローバル人材像 Graduation Policy		社会とつながる学習内容 ConnectEd : Learning to Connect with Society						
1 学期	4	1	第1編 世界と日本の姿		科学的思考能力								
		2	第1章 世界の姿、第2章 日本の姿		コミュニケーション能力		[テーマ]日本は、なぜ木造建築と鉄骨・鉄筋の建物が多いのか。						
		3	第2編 世界のさまざまな地域										
	5	4	第1章 世界各地の人々の生活と環境										
		5	第2章 世界の諸地域										
		6	1節 アジア州		情報活用能力		[テーマ]〇〇は、なぜ旅行者が多いのか。						
	6	7	2節 ヨーロッパ州				※〇〇は、州の中の国や都市を選択						
		8	3節 アフリカ州				↓						
		9	4節 北アメリカ州				・レポート提出						
		10					・旅行関係者にプレゼンテーション						

5つの力

社会と教科  
がつながる  
テーマ設定



## 企業・NPO・自治体等との交流 = 30以上

- ▶ スタートアップ: STATION Ai(株), 愛知県スタートアップ振興課
- ▶ 学校設定科目WWL特論 = シャープ(株), Olive, (株) CBCラジオ, アサヒ飲料(株)



先端技術で社会課題解決(スタートアップ企業: Olive)





## 学校間交流 = 20以上

- ▶京都市立西京高等学校附属中学校 来校: 生徒36名・教員2名
- ▶海外: Design Tech Highschool (アメリカ): オラクル社





日進市立北小学校

## 高校生の出前授業

- ▶ 小学5年生×4クラス、2時間
- ▶ WWLの取り組みをさらに若い世代へ







カンボジア・ベトナムコース(2022年8月)

APEX INTERNATIONAL

ayako sasaki

iPhone (5)

Toshihiro KATAYAMA

## 国際理解研修

(a) 現地中継で「誰でもオンライン海外研修」

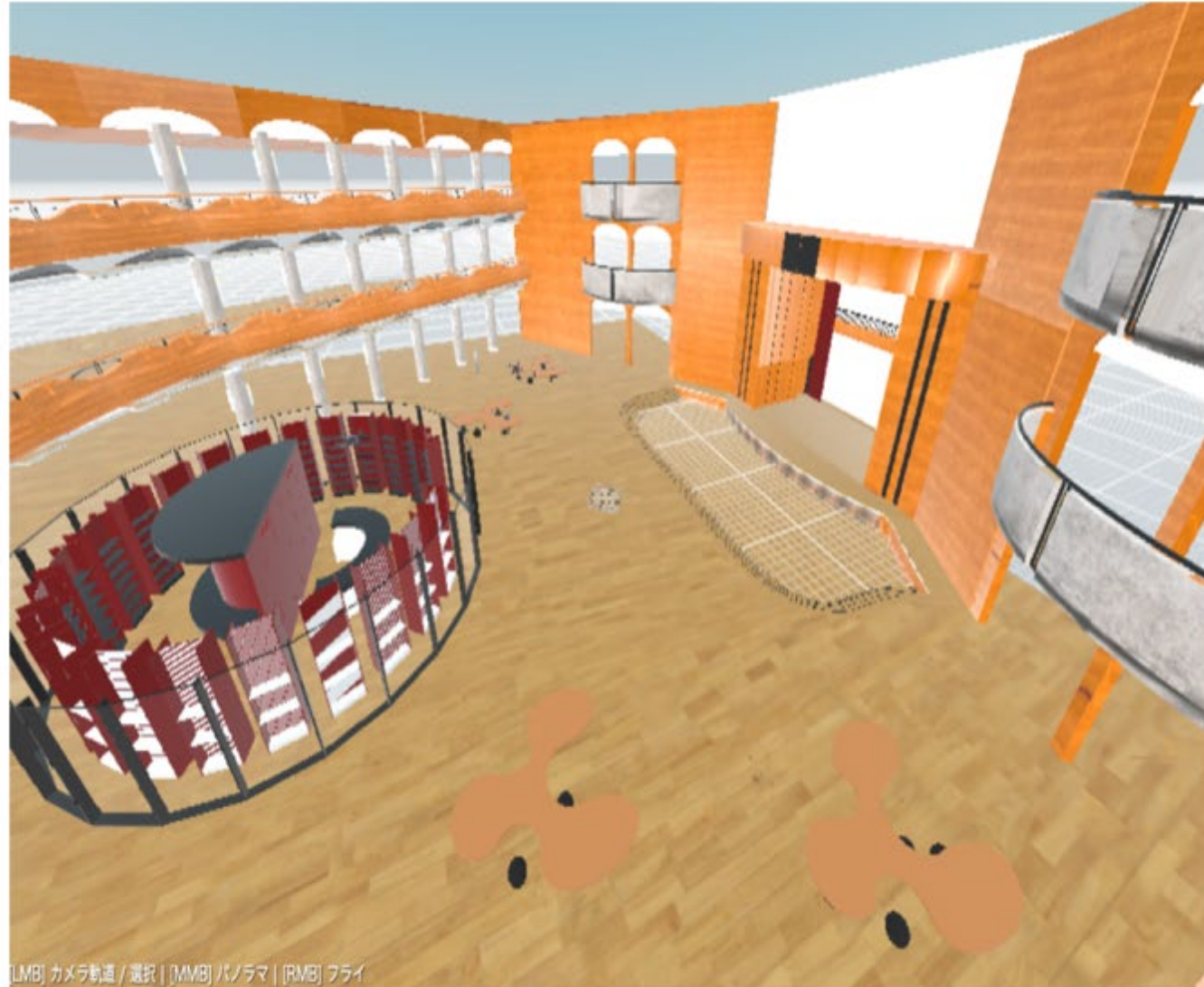
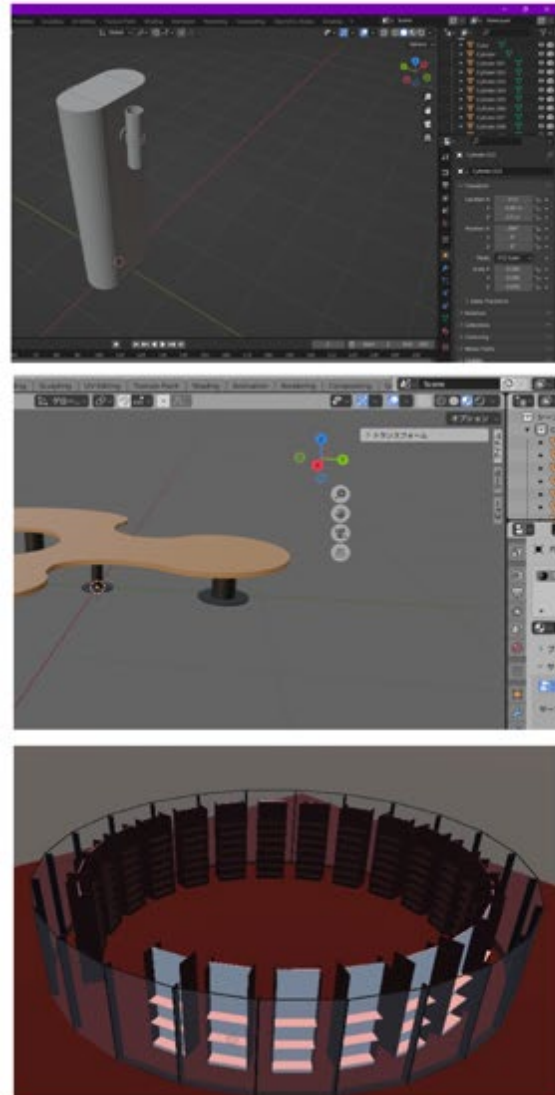
(2020年-21年:オンライン研修の経験から実施)

(b) 「名古屋めし」と「奈良めし」(奈良県立国際高校との交流より)



# WWL高校生国際会議—若者らしい空間と提言—

- (a) オンライン会議システム(Zoom)の欠点→「メタバースで改善できるか。」
- (b) 高校生の会議→面白さ、若者らしい会議場、先端技術を駆使



[c]高校生国際会議





- ① **基調講演**：特定非営利活動法人ARUN Seed 代表理事 功能 聡子 氏
- ② **アイスブレイク**
- ③ **ポスターセッション**







## VRカンファレンス

テーマ:「高校生が考える新しい時代の新しい学び」  
→提言:高校生が考える「シン・タンキュウ」



# New Borderless Education

## Tangible initiatives

ICT allows students to learn anytime, anywhere, in any situation, and under any circumstance, regardless of location, time, opportunity, and various disparities.

## Intangible initiatives

Learning should not be too confined to textbooks or schools.  
Learning a variety of things from a variety of people expands a student's potential.  
By figuring out what we like to do, we can become an expert in that field.  
Instead of the state or school deciding how students learn and what kind of students they will be, the new education is one in which each student decides what kind of learning they want to do and who they want to be, and they can make that happen for themselves.

## (1)ハード面

ICT技術を駆使することで、場所や時間、機会、様々な格差に関係なく、いつでも、どこでも、どんな状況でも、どんな境遇でも、学ぶことができます。

## (2)ソフト面

学びの内容も、教科書や学校ということにとらわれすぎず、様々な人から様々なことを学ぶことで、生徒の可能性が広がります。好きなことを突き詰めることでその分野の専門家になることもできます。国や学校がこういう学びをしてほしい、こういう生徒になってほしいと決めるのではなく、生徒一人一人がこういう学びをしたい、こういう人になりたいと願い、それが実現できる教育です。





# “日本発の革新的なカリキュラム”を世界へ ～生徒が考えたNew Borderless Educationで～

